

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年7月30日
【四半期会計期間】	第10期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）
【会社名】	エムスリー株式会社 (旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社)
【英訳名】	M3, Inc. (旧英訳名 So-net M3, Inc.)  (注) 平成21年6月22日開催の第9回定時株主総会の決議により、平成22年1月1日付で会社名を上記の通り変更しました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷村 格
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門二丁目5番5号
【電話番号】	03(5408)0800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 辻 高 宏
【最寄りの連絡場所】	東京都港区芝大門二丁目5番5号
【電話番号】	03(5408)0800(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役 辻 高 宏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の連結子会社であるメビックス株式会社（以下「メビックス」という）が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買取価格に与えたであろう影響を精査した結果、買取時に使用したメビックスの財務情報が不適切であったために買取価格算定の前提が覆り、取得対価が過大であったと認識しました。これを受けて、当社は取得対価のうち過大であった部分を損失処理することとし、株式取得時点に遡って決算の訂正を行うこととしました。

この決算訂正により、当社が平成22年4月30日付で提出いたしました第10期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）四半期報告書の訂正報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、本訂正報告書を提出するものです。また、四半期連結財務諸表の記載内容に係る訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、あわせて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出しております。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、あらた監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

## 2【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 業績の状況

###### (2) 資産、負債及び純資産の状況

###### (3) キャッシュ・フローの状況

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書

###### (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

##### 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

(企業結合等関係)

(1株当たり情報)

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次 会計期間	第9期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第10期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第9期
	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高 (千円)	1,966,566	2,199,398	8,534,933
経常利益 (千円)	952,986	1,077,657	4,170,963
四半期(当期)純利益 (千円)	525,264	614,350	2,363,272
純資産額 (千円)	8,338,174	10,263,197	10,214,827
総資産額 (千円)	10,000,755	13,217,619	12,542,583
1株当たり純資産額 (円)	31,110.67	37,610.69	38,331.94
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	2,013.06	2,347.84	9,048.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1,984.89	2,322.23	8,932.03
自己資本比率 (%)	81.2	74.5	80.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△183,753	430,080	2,055,657
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△136,138	△1,701,314	△53,487
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△755,249	△800,640	△740,871
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,684,410	5,929,306	8,001,977
従業員数 (名)	106	226	132

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

回次 会計期間	第9期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第10期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第9期
	自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日	自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日	自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高 (千円)	1,966,566	2,199,398	8,534,933
経常利益 (千円)	952,986	1,077,657	4,170,963
四半期(当期)純利益又は四半期(当 期)純損失(△) (千円)	525,264	△249,962	2,363,272
純資産額 (千円)	8,338,174	9,398,884	10,214,827
総資産額 (千円)	10,000,755	12,353,306	12,542,583
1株当たり純資産額 (円)	31,110.67	34,307.57	38,331.94
1株当たり四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△)金額 (円)	2,013.06	△955.27	9,048.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	1,984.89	二	8,932.03
自己資本比率 (%)	81.2	72.7	80.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△183,753	430,080	2,055,657
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△136,138	△1,701,314	△53,487
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△755,249	△800,640	△740,871
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	5,684,410	5,929,306	8,001,977
従業員数 (名)	106	226	132

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
3 第10期第1四半期連結累計(会計)期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## 第2【事業の状況】

### 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(省略)

(訂正前)

これらの結果、営業利益は1,064百万円（前年同期比15.9%増）、経常利益は1,077百万円（同13.1%増）、四半期純利益は614百万円（同17.0%増）となりました。

(訂正後)

これらの結果、営業利益は1,064百万円（前年同期比15.9%増）、経常利益は1,077百万円（同13.1%増）となりました。

なお、メビックスの不適切な会計処理を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックスの財務情報が不適切であったために買収価格算定の前提が覆り、取得対価のうち過大であった部分を、特別損失にのれん一時償却額として864百万円計上しました。この結果、四半期純損失249万円（同775百万円悪化）となりました。

#### (2) 資産、負債及び純資産の状況

(訂正前)

資産合計は、前連結会計年度末比675百万円増の13,217百万円となりました。メビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が2,012百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が330百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比1,333百万円減の8,755百万円となりました。またメビックスの新規連結に伴いのれんを1,639百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比2,008百万円増の4,462百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比626百万円増の2,954百万円となりました。法人税等の支払により未払法人税等が525百万円減少する一方で、メビックスの新規連結の影響等により買掛金が415百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比584百万円増の2,596百万円となりました。固定負債は、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が40百万円増加したことを主な要因に、前連結会計年度末比41百万円増の358百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比48百万円増の10,263百万円となりました。剰余金配当863百万円を行った一方、四半期純利益614百万円を計上したことにより利益剰余金が249百万円減少したこと、メビックスの新規連結の影響等により少数株主持分が233百万円増加したことが主な要因です。

(訂正後)

資産合計は、前連結会計年度末比189百万円減の12,353百万円となりました。メビックス株式会社（以下「メビックス」という）に対する公開買付けの実施等により現金及び預金が2,012百万円減少し、メビックスの新規連結の影響等により売掛金が330百万円増加したものの、流動資産は前連結会計年度末比1,333百万円減の8,755百万円となりました。またメビックスの新規連結に伴いのれんを775百万円計上したことを主な要因に、固定資産は前連結会計年度末比1,144百万円増の3,598百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末比626百万円増の2,954百万円となりました。法人税等の支払により未払法人税等が525百万円減少する一方で、メビックスの新規連結の影響等により買掛金が415百万円増加したこと等により、流動負債は前連結会計年度末比584百万円増の2,596百万円となりました。固定負債は、投資有価証券の時価評価の影響等により繰延税金負債が40百万円増加したことを主な要因に、前連結会計年度末比41百万円増の358百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末比815百万円減の9,398百万円となりました。メビックスの新規連結の影響等により少数株主持分が233百万円増加したものの、剰余金配当863百万円を行ったこと、四半期純損失249百万円を計上したことにより利益剰余金が1,113百万円減少したことが、主な要因です。

### (3) キャッシュ・フローの状況

#### (訂正前)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より2,072百万円減少し、5,929百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、430百万円の収入（前年同期比613百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,077百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額926百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,701百万円の支出（前年同期比1,565百万円の支出増）となりました。メビックスの子会社化における、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,642百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、800百万円の支出（前年同期比45百万円の支出増）となりました。

#### (訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末残高より2,072百万円減少し、5,929百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、430百万円の収入（前年同期比613百万円の収入増）となりました。収入の主な内訳は、メビックス株式会社（以下「メビックス」という）の取得に関連して発生したのれんに対するのれん一時償却額864百万円の計上及び税金等調整前四半期純利益213百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額926百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,701百万円の支出（前年同期比1,565百万円の支出増）となりました。メビックスの子会社化における、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,642百万円が発生しています。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により、800百万円の支出（前年同期比45百万円の支出増）となりました。

## 第5【経理の状況】

### 2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）に係る四半期連結財務諸表並びに当第1四半期連結会計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書（提出日：平成22年7月30日）を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

# 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,178,312	8,191,260
売掛金	1,780,219	1,449,350
商品	17,771	2,025
仕掛品	167,962	41,505
その他	612,178	405,586
貸倒引当金	△1,199	△781
流動資産合計	8,755,245	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 167,095	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	2,410,357	783,665
その他	269,189	195,557
無形固定資産合計	2,679,546	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,221,083	1,173,613
その他	394,648	234,808
投資その他の資産合計	1,615,732	1,408,422
固定資産合計	4,462,374	2,453,634
資産合計	13,217,619	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,519	110,967
未払法人税等	408,693	934,442
ポイント引当金	317,445	314,961
その他の引当金	36,681	47,648
その他	1,306,666	603,085
流動負債合計	2,596,005	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	6,291	4,426
繰延税金負債	351,140	311,137
その他	983	1,085
固定負債合計	358,415	316,650
負債合計	2,954,421	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,187,576	1,187,576
資本剰余金	1,415,971	1,415,971
利益剰余金	6,767,849	7,016,995
株主資本合計	9,371,396	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	551,427	497,481
為替換算調整勘定	△81,384	△87,859
評価・換算差額等合計	470,042	409,622
新株予約権	16,516	12,901
少数株主持分	405,241	171,759
純資産合計	10,263,197	10,214,827
負債純資産合計	13,217,619	12,542,583

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,178,312	8,191,260
売掛金	1,780,219	1,449,350
商品	17,771	2,025
仕掛品	167,962	41,505
その他	612,178	405,586
貸倒引当金	△1,199	△781
流動資産合計	8,755,245	10,088,948
固定資産		
有形固定資産	※1 167,095	※1 65,988
無形固定資産		
のれん	1,546,043	783,665
その他	269,189	195,557
無形固定資産合計	1,815,233	979,223
投資その他の資産		
投資有価証券	1,221,083	1,173,613
その他	394,648	234,808
投資その他の資産合計	1,615,732	1,408,422
固定資産合計	3,598,060	2,453,634
資産合計	12,353,306	12,542,583
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,519	110,967
未払法人税等	408,693	934,442
ポイント引当金	317,445	314,961
その他の引当金	36,681	47,648
その他	1,306,666	603,085
流動負債合計	2,596,005	2,011,105
固定負債		
退職給付引当金	6,291	4,426
繰延税金負債	351,140	311,137
その他	983	1,085
固定負債合計	358,415	316,650
負債合計	2,954,421	2,327,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,187,576	1,187,576
資本剰余金	1,415,971	1,415,971
利益剰余金	5,903,535	7,016,995
株主資本合計	8,507,082	9,620,543
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	551,427	497,481
為替換算調整勘定	△81,384	△87,859
評価・換算差額等合計	470,042	409,622
新株予約権	16,516	12,901
少数株主持分	405,241	171,759
純資産合計	9,398,884	10,214,827
負債純資産合計	12,353,306	12,542,583

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	1,966,566	2,199,398
売上原価	454,209	477,799
売上総利益	1,512,357	1,721,598
販売費及び一般管理費	※1 594,371	※1 657,346
営業利益	917,986	1,064,252
営業外収益		
受取利息	11,999	6,088
為替差益	17,236	—
持分法による投資利益	—	6,460
その他	6,892	6,125
営業外収益合計	36,127	18,674
営業外費用		
為替差損	—	4,789
持分法による投資損失	1,120	—
その他	7	479
営業外費用合計	1,127	5,269
経常利益	952,986	1,077,657
税金等調整前四半期純利益	952,986	1,077,657
法人税、住民税及び事業税	331,271	404,267
法人税等調整額	93,709	53,908
法人税等合計	424,981	458,176
少数株主利益	2,740	5,130
四半期純利益	525,264	614,350

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,966,566	2,199,398
売上原価	454,209	477,799
売上総利益	1,512,357	1,721,598
販売費及び一般管理費	※1 594,371	※1 657,346
営業利益	917,986	1,064,252
営業外収益		
受取利息	11,999	6,088
為替差益	17,236	—
持分法による投資利益	—	6,460
その他	6,892	6,125
営業外収益合計	36,127	18,674
営業外費用		
為替差損	—	4,789
持分法による投資損失	1,120	—
その他	7	479
営業外費用合計	1,127	5,269
経常利益	952,986	1,077,657
特別損失		
のれん一時償却額	—	※2 864,313
特別損失合計	—	864,313
税金等調整前四半期純利益	952,986	213,344
法人税、住民税及び事業税	331,271	404,267
法人税等調整額	93,709	53,908
法人税等合計	424,981	458,176
少数株主利益	2,740	5,130
四半期純利益又は四半期純損失(△)	525,264	△249,962

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】  
(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	952,986	1,077,657
減価償却費	17,935	22,039
のれん償却額	16,064	12,725
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	410
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,423	2,592
退職給付引当金の増減額(△は減少)	776	1,597
その他の引当金の増減額(△は減少)	△5,321	△10,651
受取利息及び受取配当金	△12,743	△8,217
為替差損益(△は益)	△17,236	4,789
持分法による投資損益(△は益)	1,120	△6,460
売上債権の増減額(△は増加)	38,621	180,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,741	△5,336
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,344	21,880
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,489	8,158
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△76,914	52,533
その他	△9,597	△4,840
小計	843,691	1,346,070
利息及び配当金の受取額	12,743	10,634
法人税等の支払額	△1,040,187	△926,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,753	430,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,657	△2,453
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△4,530	△1,755
無形固定資産の取得による支出	△24,273	△17,003
敷金及び保証金の差入による支出	△5,158	△508
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,169
投資有価証券の取得による支出	△41,052	—
投資有価証券の売却による収入	30,000	7,368
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,642,564
貸付けによる支出	—	△52,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,138	△1,701,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△755,249	△800,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△755,249	△800,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,776	△796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,093,917	△2,072,670
現金及び現金同等物の期首残高	6,778,327	8,001,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 5,684,410	※1 5,929,306

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	952,986	213,344
減価償却費	17,935	22,039
のれん償却額	16,064	12,725
のれん一時償却額	—	864,313
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,395
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	410
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△9,423	2,592
退職給付引当金の増減額(△は減少)	776	1,597
その他の引当金の増減額(△は減少)	△5,321	△10,651
受取利息及び受取配当金	△12,743	△8,217
為替差損益(△は益)	△17,236	4,789
持分法による投資損益(△は益)	1,120	△6,460
売上債権の増減額(△は増加)	38,621	180,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,741	△5,336
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,344	21,880
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,489	8,158
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△76,914	52,533
その他	△9,597	△4,840
小計	843,691	1,346,070
利息及び配当金の受取額	12,743	10,634
法人税等の支払額	△1,040,187	△926,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△183,753	430,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,657	△2,453
定期預金の払戻による収入	—	4,662
有形固定資産の取得による支出	△4,530	△1,755
無形固定資産の取得による支出	△24,273	△17,003
敷金及び保証金の差入による支出	△5,158	△508
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,169
投資有価証券の取得による支出	△41,052	—
投資有価証券の売却による収入	30,000	7,368
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△88,466	△1,642,564
貸付けによる支出	—	△52,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△136,138	△1,701,314
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△755,249	△800,640
財務活動によるキャッシュ・フロー	△755,249	△800,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18,776	△796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,093,917	△2,072,670
現金及び現金同等物の期首残高	6,778,327	8,001,977
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 5,684,410	※1 5,929,306

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)												
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">182,395千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">168,611千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">13,733千円</td> </tr> </table>	報酬・給与	182,395千円	販売促進費	168,611千円	賞与引当金繰入額	13,733千円	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">205,239千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">166,502千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">15,526千円</td> </tr> </table>	報酬・給与	205,239千円	販売促進費	166,502千円	賞与引当金繰入額	15,526千円
報酬・給与	182,395千円												
販売促進費	168,611千円												
賞与引当金繰入額	13,733千円												
報酬・給与	205,239千円												
販売促進費	166,502千円												
賞与引当金繰入額	15,526千円												

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)														
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">182,395千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">168,611千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">13,733千円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">—</td> <td></td> </tr> </table>	報酬・給与	182,395千円	販売促進費	168,611千円	賞与引当金繰入額	13,733千円	—		<p>※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">報酬・給与</td> <td style="text-align: right;">205,239千円</td> </tr> <tr> <td>販売促進費</td> <td style="text-align: right;">166,502千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">15,526千円</td> </tr> </table> <p>※2 <u>のれん一時償却額については、連結子会社メビックス株式会社が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買収価格に与えたであろう影響を精査した結果、買収時に使用したメビックス株式会社の財務情報が不適切であったために買収価格算定の前提が覆り、取得対価のうち過大であった部分を損失処理したものです。</u></p>	報酬・給与	205,239千円	販売促進費	166,502千円	賞与引当金繰入額	15,526千円
報酬・給与	182,395千円														
販売促進費	168,611千円														
賞与引当金繰入額	13,733千円														
—															
報酬・給与	205,239千円														
販売促進費	166,502千円														
賞与引当金繰入額	15,526千円														

(企業結合等関係)

当第1四半期連結会計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

パーチェス法の適用

(省略)

(訂正前)

4 発生したのれんの金額等

のれん	1,639,416千円
発生原因	メビックス株式会社の今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの
償却方法及び償却期間	のれんについては、 <u>16年間</u> で均等償却しています。

(省略)

6 当該企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定したときの当第1四半期連結累計期間の売上高等の概算額

売上高	2,697,740千円
営業利益	<u>812,760</u> 千円
経常利益	<u>826,284</u> 千円
四半期純利益	<u>366,540</u> 千円

(注) (省略)

(訂正後)

4 発生したのれんの金額等

のれん	1,639,416千円
発生原因	メビックス株式会社の今後の事業展開によって期待される将来の収益力に関連して発生したもの
償却方法及び償却期間	<u>メビックス株式会社が平成22年4月30日に実施した過年度決算の訂正を発端として買取価格に与えたであろう影響を精査した結果、買取時に使用したメビックス株式会社の財務情報が不適切であったために買取価格算定の前提が覆り、取得対価のうち過大であった金額864,313千円については、発生時に損失処理しています。</u> 上記損失処理後ののれんについては、 <u>7年間</u> で均等償却しています。

(省略)

6 当該企業結合が連結会計年度の開始の日に完了したと仮定したときの当第1四半期連結累計期間の売上高等の概算額

売上高	2,697,740千円
営業利益	<u>815,094</u> 千円
経常利益	<u>828,618</u> 千円
四半期純損失	<u>495,438</u> 千円

(注) (省略)

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額  
(訂正前)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 37,610.69円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	10,263,197	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	421,758	184,661
(うち新株予約権)	(16,516)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(405,241)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	9,841,439	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,666	261,666

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
1株当たり純資産額 34,307.57円	1株当たり純資産額 38,331.94円

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	9,398,884	10,214,827
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	421,758	184,661
(うち新株予約権)	(16,516)	(12,901)
(うち少数株主持分)	(405,241)	(171,759)
普通株式に係る四半期末(期末)の純資産額(千円)	8,977,125	10,030,165
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期末(期末)の普通株式の数(株)	261,666	261,666

2 1株当たり四半期純利益金額等

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	2,013.06円	1株当たり四半期純利益金額	2,347.84円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,984.89円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	2,322.23円

(注) 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	525,264	614,350
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	525,264	614,350
期中平均株式数(株)	260,928	261,666
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,704	2,886
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	2,013.06円	1株当たり四半期純損失金額	955.27円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	1,984.89円	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額		
四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	525,264	△249,962
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(千円)	525,264	△249,962
期中平均株式数(株)	260,928	261,666
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	3,704	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年7月30日

エムスリー株式会社  
(旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社)  
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 善場 秀明  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエムスリー株式会社（旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社）の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エムスリー株式会社（旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社）及び連結子会社の平成21年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 追記情報

「第5 経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成22年7月30日
【会社名】	エムスリー株式会社  (旧会社名 ソネット・エムスリー株式会社)
【英訳名】	M3, Inc.  (旧英訳名 So-net M3, Inc. )  (注) 平成21年6月22日開催の第9回定時株主総会の決議により、平成22年1月1日付で会社名を上記の通り変更しました。
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 谷 村 格
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	東京都港区芝大門二丁目5番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 谷村格は、当社の第10期第1四半期（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）の四半期報告書の訂正報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

## 2【特記事項】

特記すべき事項はありません。